

第 3587 図

たかねまんねんぐさ
Sedum tricarpum Makino

本州西部、四国、九州の山地の岩場に生ずる多年生小草本である。茎は高さ6-15cm、やや太く往々暗紫色をおびる。葉は互生し、倒卵形で先はやや短く尖り、基は楔状に細まって長く葉柄状になり、長さ12-30mm、巾4-10mm、扁平多肉で厚い。初夏、上部に開出した枝を分って葉状の苞腋に黄花を開く。花は殆んど無梗、径約1cm。萼片は5個、鐘状で大きさが不同である。花弁は5枚、披針形で先は長く尖る。雄蕊は10本、花弁より短く、葯は赤い。雌蕊は通常3個で、これはこの種の特徴である。果実は3個の心皮からなり、基部で癒着し、熟すと横に開出する。初め四国の高地で見出されたため高嶺万年草と云う。

みやままんねんぐさ
Sedum japonicum Sieb.

var. *senanense Makino*
(= *S. senanense Makino*)

本州中部の高山岩石地に生ずる多年生小草本である。茎は横にはい暗紫をおび、花枝は立ち上り高さ3-9cm。葉は互生し、無花枝では特に密に着き、やや円柱形鈍頭で多肉、長さ2-8mm、下面は往々紅色をおびる。7-8月、枝先に径1-2.5cmの聚繖花序をなし、黄花を開く。花は径6-8mm、萼片は5個、長さ2-4mmでやや不同、披針形多肉である。花弁は5個、卵状披針形で長さ約4mm。雄蕊は10本、雌蕊は5個。メノマンネングサに比し、全体小形で茎は細く、葉は小形で普通紅色になる。

うつぼかずら (猪籠草)
Nepenthes mirabilis Druce
(= *N. phyllamphora Willd.*)

広く南支、印度支那、マレーシアに分布する常緑の藤本で、屢々温室で培養される食虫植物。蔓は数m以上に伸び、葉は薄い革質で互生し、葉柄に狭翼あり、葉身は狭長楕円形、長さ10-15cm、全縁で、下面は幼茎、花序と共に褐毛が密生する。中肋は長く伸び出て、他物に巻きつき、先端は一度下向し、更に上向して捕虫囊を生ずる。囊は概形円筒形で、上半は細く、蓋状の附属物を具え、囊筒の前側には2条の稜状隆起がある。囊底に消化液を分泌して、昆虫を捕食する。雌雄異株で、総状花序は枝頂から直立して長さ10-25cm許、有梗4萼片の黒紫花を密生する。花は径8mm許、花弁の外面は縁と共に伏毛密布、果実は萼片を宿存し、紡錘形。ウツボカズラの名は同属の他種に用いられたこともあるが、今は支那に産し、最も古くから知られた本種に限って用いた。漢名猪籠草の猪籠は豚を入れて運搬する籠の意。

もいわなずな

Draba sachalinensis Trautv.

本州中部の高山地帯(信濃)、北海道、樺太に分布する多年生小草本。全株に星状毛及び単毛を密布し、根生葉は簇生し、倒披針形、鋭頭、基部は狭まり、少数の鋸歯があるか、又は全縁、長さ2-3cm、莖葉は少数、狭卵形、縁辺に鋸歯があるが、上方は全縁、基部は細まって楔形となり、茎を半ば抱いている。初夏の候、茎頂に短い総状花序をなして、小白花を開く。小梗は斜上し有毛、花に4萼片、4弁片があり、萼片は舟形、弁片広倒卵形、微に凹頭、その長さ萼片に倍し、長さ7-8mm許、平開する。4強雄蕊、1雌蕊がある。花後花序の中軸は少しく伸長し、星状毛ある広披針形、長さ8-10mm許の長角を結び、宿存花柱を冠する。

なんぶいぬなずな

Draba japonica Maxim.

北海道(夕張岳)、本州(早池峯山)の高山地帯、岩礫の間に簇生する多年生小草本。全株星毛を布き、根生葉は倒披針形、全縁、時に疎に鋸歯があり、鈍頭、基部は狭窄し、毛縁をなし、長さ1cm内外。茎は高さ3-10cm許、莖葉は少数、長楕円形又は広倒披針形、疎に鋸歯があり、毛縁をなすこと根生葉と同様。夏日、総状花序を頂生し、稍々密に径7mm内外の黄色小花を開く。この時無花枝も伸長して茎を現わす。小梗は有毛、斜開し、萼片は4個、楕円形、鈍頭、花弁も亦4個広倒卵形、先端凹入し、平開し、花中に4強雄蕊、1雌蕊があり、花後、花序を伸ばし、長さ4mm許、扁平、楕円形、無毛の短角を結び、頂に宿存する花柱がある。

はななずな

Berteroella Maximowiczii

O. E. Schulz

(= *Sisymbrium Maximowiczii Palib.*)

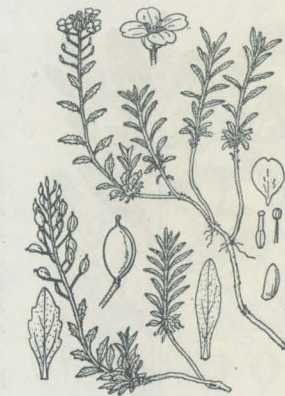
本州の中国地方(安芸)、九州(対馬)に稀産し、朝鮮、満洲、北支那に分布する1年生草本で高さ30cm許に達して直立し、茎は往々上方で分岐し、全株に星状毛を密布し、灰白緑色を呈する。葉は倒卵状長楕円形、基部は狭って短柄をなして互生し、長さ2-3cm許、各枝頂の総状花序は瘦長で、多数の帯紅或は帯紫色の小花を綴る。萼片は長楕円形、稍々鋭頭、花弁は倒卵状長楕円形で基部楔形をなして平開し、萼片、花弁共に4個あり、4強雄蕊、1雌蕊を具える。花後白色星状毛ある線状円柱形の長角を結び、宿存する長い花柱を冠する。

第 3590 図



じゅうじばな科

第 3591 図



じゅうじばな科

第 3592 図



じゅうじばな科

べんけいそう科



第 3588 図

べんけいそう科



第 3589 図

うつぼかずら科

